

おいしけのひまつをあげたよ

里公小学校 一孝ん さとみくま

どくしておこめっておいしいの。ほくは、  
くのりゆうまがくがくでみました。

「たいなばかりのちこめは、あつちかくて、  
ぶくらくしているからまげです。たべるとほ  
かほかしていて、あまくて、くだものみたい  
なかんじがして、とてもおいしいです。たま  
ごひやなほけなほけおがぶと、しゃはたべ  
るともつとおいしくなるから、まげいで。か

もえらいます。だといつてもおじさんたべられ  
ます。おこめは、まじいなあとおもいます。

「ぼくががく、くまづい、たくさんの  
たんぼがあります。たんぼのいねをみている  
と、なつかすみになってすこいおこめのがた  
ちができていました。おこめは、おひさまは  
あたり、いねがおみずのんがりして、  
ながいじかんをかけておあまくなるんだなと  
おもいました。つくっているひともながいじ  
かんがながっているから、おこめはおいしい

んだらうなとおもいました。

ぼくのたがっているおまめは、おじいちゃんとおばあちゃんがつくっていています。おじいちゃんとおばあちゃんはおいしくて、いつもぼくとあそんでくれるからだいすきです。そんないすきなおじいちゃんとおばあちゃんが、おいしくなあれ、といいながらつくっているおまめだからとくぐつおいしいのだからとおもいます。

どうしておまめっておいしいのかかんがえてみたら、おいしいさのひみつがわかりました。ぼくは、つくってくれたひとのこころをかんがえながら、「ありがとう」のきもちをもつて、これからもリゾはんとたべたいです。